

【今月の目次】

- 1.山梨県総合教育センターにおける Teams の活用について
- 2.ICT 活用ワンポイント講座（スクリーンショット）
- 3.コラム「PC 画面の高さ調整と外付けキーボードのススメ」



1.山梨県総合教育センターにおける Teams の活用について

今回は、総合教育センターの Teams への移行の経緯とその後の活用状況について紹介します。

本センターでは、今年5月下旬から所員間での連絡手段を電子メールから Microsoft Teams に移行しました。それ以前は、所員間の連絡は一斉メールで行っていました。そのため関係ないメールと必要なメールとが混在することにより、各々が必要な情報を取捨選択し整理することが必要でした。この作業を無くすための手段として Teams の活用に至りました。

Teams への移行に際しては、はじめに、所内間の連絡は主に Teams を使用すること、所外との連絡は引き続きメールを使用するといった基本ルールを確立しました。次にチームとチャンネルの設定、所内でのチャット利用時にはあいさつ文を省略するなど、基本的な使い方について周知を図りました。

Teams への移行については、5月下旬に移行日を設定して準備を始めました。具体的な移行日を設定した理由としては、段階的に移行すると Teams とメールの両方が混在する中途半端な状況が考えられたためです。本格的な運用に向けて、練習用に自由に使える環境を用意してテストチームを結成し、試行を行いました。また、全所員を対象とした研修会の実施や基本的な使用方法をまとめた資料の配布や動画教材の紹介、相談窓口の ICT 教育支援センターへの一本化など、組織的・計画的に Teams への移行に向けて取り組み、所員の心配や不安を取り除くようにしました。準備の甲斐もあり、その後の Teams への移行は大きなトラブルもなく、スムーズに移行することができました。

実際に Teams を使用して半年以上が過ぎて感じている大きなメリットは、メールと比べて、情報の管理、共有、データ蓄積、検索において非常に優れているという点です。当センターでは、所員全員が見ることができるチャンネルを部署ごとに作成して、各部署から全体への連絡は、そのチャンネルを用いて行っています。このことにより、各部署からの連絡が部署ごとのチャンネルに自動的に整理されているため、業務効率が確実に上がりました。学校においては、学校全体への連絡用のチャンネルは一箇所のみという運用をしている場合もあろうかと思いますが、チャンネルの構成を工夫することで、業務効率を大きく改善することができ

ます。また、この方法では、人事異動による担当者の変更があった場合でも、引継書に加えてチームの過去のやりとりを見ることができ、後任者が業務に対する見通しを立てやすくなるといったメリットも期待できます。

学校が抱える課題の複雑化が進んでいる中において、業務負担を軽減し、教育の質の向上を図るためには、先生方を取り巻く環境を見直し、時代の変化に合わせて学校現場における業務の在り方をリニューアルしていくことが必要です。今回の事例が先生方の業務改善のための参考となれば幸いです。

なお、ypecICT 通信【令和6年6月号（第2号）】のコラムで、「Classroom や Teams の活用と見直し」を話題にしていますが、この内容は、そのとき正に総合教育センターが直面していた課題でした。「便利に使うには」という視点で、所長をはじめとして、所員全体で取り組んだ成果であると感じています。今後も必要に応じて、運用を見直しながら、業務改善に努めていきたいと考えています。



2. ICT 活用ワンポイント講座（スクリーンショット）

Windows パソコンでスクリーンショットを取るには、第2号でもお伝えしましたが、「Windows」＋「Shift」＋「s」の3つのボタンを同時に押すと撮影できます。また、「Prt Sc」（プリントスクリーン）キーを押しても同様に撮影できます。撮影方法としては、

- ・画面全体を撮影できる「全画面」
- ・特定のウィンドウだけを選んで撮影できる「ウィンドウ」
- ・マウスで範囲指定できる「四角形」
- ・自由な形で切り抜ける「フリーフォーム」

の4種類が選択できます。

また、Windows11 では静止画だけでなく、動画も撮影できるようになりました。動画は「四角形」で選んだ範囲を撮影することができます。様々な資料を作成する際に活用してみてください。



3. コラム「PC 画面の高さ調整と外付けキーボードのススメ」

学校で先生方が使用しているパソコンのほとんどはノートパソコンだと思います。このとき、多くの場合、画面を見下ろす姿勢でパソコンに向かうことになると思います。これが肩こりや腰痛の原因となると言われています。

理想的な姿勢としては、ディスプレイは目の高さに対して水平から少し見下ろす程度の高さにし、肘は90度～100度になるような姿勢が良いとされています。その姿勢をとるには、ノートパソコンの場合、台の上に乗せることになり、キーボードも別途用意することになると思います。キーボードは安いもので1,000円程度から販売されています。キーボードの打ち心地はそれぞれ違いますので、家電量販店に行って触ってみて買うのが良いと思い

ますが、オススメは無線接続のものです。生徒からの回収物のチェックや書き物をする際に、簡単に移動することができるからです。

姿勢を良くすることで集中力も高まると言われています。机の上を片付けつつ、健康のために、レイアウトを検討してみてもはいかがでしょうか。



おまけ いまさら聞けない用語解説

今月の用語「CBT【シー・ビー・ティー】」

Computer Based Testing の略。コンピュータ使用型調査。パソコンを用いて行われる試験全般を指す。近年、国際的な学力調査において CBT 化が進んでおり、PISA (OECD 生徒の学習到達度調査) は 2015 年から CBT に移行、TIMSS (国際数学・理科教育動向調査) は 2019 年調査より CBT が導入され、日本は 2023 年調査から CBT により参加している。文部科学省では、全国学力・学習状況調査の CBT 化に向けた取組を推進しており、令和 7 年度は、中学校理科の調査が CBT で実施されることとなっている。文部科学省 CBT システムの名称は MEXCBT (メクビット) という。

ICT 教育支援センターでは、各校で取り組んでいることや取り組もうとしていることへの支援に加えて、ICT 機器やソフトウェア、ネットワーク等に関する相談支援や学校訪問など随時対応しております。校内研修や研究会において、ICT 教育支援センターを活用していただきたいと思っております。お気軽にご相談ください。

山梨県総合教育センター ICT 教育支援センター

〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田 1456

TEL:055-262-5508 (直) /FAX:055-262-5572

お問い合わせは [こちらへ](https://forms.office.com/r/wyuB8BRNg2) <https://forms.office.com/r/wyuB8BRNg2>

バックナンバーは [こちら](https://www.ypec.ed.jp/?page_id=6492) https://www.ypec.ed.jp/?page_id=6492